

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

本年度は、昨年度指定管理者として再度選定された「埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園」「荒川大麻生公園」において第3期の指定管理事業がスタートし、「埼玉県自然学習センター」では、開館以来の累計利用者が200万人を突破する等、生物多様性の向上と自然とのふれあいの場としての機能をより充実させた取り組みを進めることができました。

ナショナルトラスト事業では、小鹿野町内の山林11,269㎡を寄附により、秩父市内の山林27,463㎡は購入により取得する等、昨年度に続いてナショナルトラスト事業を前進させることができました。

この他、連携団体の活動・提言により、クビアカツヤカミキリが環境省により本年中に特定外来生物に指定される予定であり、芝川第一調節池における自然再生の取り組みについては、グリーンインフラの先進事例として書籍等で紹介されるなど、協会の目的達成に向け、多くの会員・ボランティアの皆様のご支援を得て、各種事業を積極的に展開することができました。

1. 普及広報環境教育事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』を目的に、以下の普及広報・環境教育事業を展開しました。

1-1 普及広報事業

① 政策提言事業

埼玉県、さいたま市、越谷市、北本市、戸田市、加須市等の環境審議会をはじめ、埼玉県希少野生動植物種検討委員会、埼玉県生物多様性保全県戦略改訂検討委員会、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会、くぬぎ山地区自然再生協議会、朝霞市生物多様性市民懇談会、生物多様性かぞ戦略策定検討委員会等への委員の派遣の他、県議会等への政策提言活動を行いました。

② 自然観察会・環境管理事業

「自然を歩く会」・「植物の会」・「自然かんさつの会」をはじめとした各種観察会を県内各地の団体と連携し600回以上開催した他、昨年取得した「両神山トラスト地」での自然観察会を兼ねた管理活用活動に着手しました。また、サクラソウをはじめとした湿性草地や武蔵野の雑木林の環境管理活動・イベント等を行い、広く県民の参加を募る他、環境関連団体が実施する自然観察会や環境管理作業への講師派遣を行いました。

③ 環境講座・環境イベント事業

県民対象の「最新環境カレッジ」をはじめとした持続可能なまちづくりにつながる各種講座や研修会の開催、埼玉県総合技術センター、環境科学国際センター、上尾市、草加市、彩の国いきがい大学、行田市民大学等、自治体及び各種行政機関・団体への講師派遣を行いました。また、秩父市内で開催された全国巨木フォーラム及び鴻巣市内で開催された、「あらかわ学会年次大会2016」の運営・発表に協力しました。

④ 会報及び書籍の編集発行事業

会報「ナチュラルアイ」を発行しました。この他、市民団体等が発行する環境に関する発行物の編集支援を行いました。

⑤ 市民活動支援事業

入間川流域の河川での環境保全活動を支援する「武州・入間川プロジェクト」を、武

州ガス株式会社、荒川上流河川事務所と連携し、学校や市民団体等 12 団体へ助成を行いました。また、株式会社タムロンの支援を得て、見沼の自然を再生・保全する「芝川第一調節池環境管理パートナーズ」の事務局を担いました。

- ⑥ 企業・団体活動支援事業
三つ又沼ビオトープでの武蔵野銀行新入行員野外研修支援や清水建設株式会社関東支店等の環境管理活動の支援を行いました。また、企業・団体が計画する CSR 事業等の相談対応を行いました。
- ⑦ ウェブサイト・各種媒体を通じての広報事業
当協会ホームページの更新や、県庁記者クラブ等を通じての環境関連情報の積極的な発信を行う他、facebook やメールマガジンなどを活用して、環境保全の新たな担い手の確保に努めました。
- ⑧ 写真・パネル等の貸し出し事業
マスコミや行政・市民団体等への動植物の写真やパネルの貸し出し及び使用写真の選定の支援を行いました。会員等からの写真を広く募集し、コンテンツの充実に努めました。

1-2 環境教育事業

- ① コンクール事業
身近な自然の大切さに子どもたちが気付くこと、また子どもたちの作品を通じて広く市民に認知されることを目的に、第 32 回「私たちの自然を守ろうコンクール」を朝日新聞さいたま総局と開催し 2,582 点の応募の中から 175 点の受賞作品を決定し、表彰式を行いました。学校賞には、私立浦和実業学園中学校が昨年引き続き選ばれました。
- ② 教員向け環境情報誌の発行事業
将来世代を担う児童や生徒を指導する教員への普及啓発を目的に、教師用ナチュラルアイを県内の小・中学校・高等学校・特別支援学校 1,542 校へ無償で配布しました。
- ③ 学校園庭ビオトープ事業
公益財団法人三菱 UFJ 環境財団の学校園庭ビオトープ助成事業の県内での窓口として、所沢市立清進小学校の支援を行いました。学校園庭ビオトープの整備・管理手法についての相談を随時受け付けました。
- ④ 教育現場への講師派遣事業
園児・児童・学生への環境学習の推進を目的とし、放送大学、春日部市立立野小学校、草加市立新田小学校等の教育機関への講師派遣を行いました。

2. 調査研究事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』を目的に、以下の調査研究事業を展開しました。

2-1 自然生態系保全・再生に関する調査研究事業

- ① 自然と共存した土地利用を進めることを目的に、希少種や外来種等に関して武蔵野平地林地区や荒川江川等において、県内の野生動植物や生物多様性の動向等の把握と評価を行いました。
- ② 自然生態系の改変を伴う河川や道路整備事業等に関して、荒川流域や中川等において希少野生動植物等の保全対策を目的にした調査・研究を行い長期的な環境対策として、エコロジカルネットワークをはじめとした具体的な環境対策を提案しました。
- ③ コウノトリやサクラソウをはじめとした失われた希少野生動植物の生息・生育環境を新たに再生するための調査研究と、その成果の試行を進めました。

2-2 環境関連の法・条例等に関する調査研究事業

国や地方自治体の環境関連の法律や条例・制度等を調査し、自然生態系の保全・再生に寄与する法律や条例・制度・施策等の制定・改正に向けての研究と提言を行いました。

2-3 環境教育に関する調査研究事業

教育現場の視察や教職員のヒアリングを通じて、総合学習や理科教育の場としての学校ビオトープの整備手法のあり方やそれを利用したカリキュラム等について検討しました。

3. 指定管理事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』に貢献することを目的に、以下の公的施設の指定管理事業を行いました。

3-1 埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園

埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園は、北本市内にある埼玉県における自然学習の拠点施設であり、自然とふれあうことを目的とした 33ha の都市公園です。

① 自然観察会等のイベント・講座の実施

「定例自然かんさつ会」「野あそび教室」「生きものいきいき隊」等のイベントを 639 回開催し、参加者は延べ 17,398 人でした。

② 環境教育をすすめる人材育成

埼玉県内の小・中学校の教員を対象とした初任者等の研修を 4 回 82 名受け入れました。また、高校学校と特別支援学校の教員 5 年次研修を 30 名受け入れました。幼稚園教諭・保育士を対象とした研修を 8 回実施しました。

③ 自然環境に関する展示、ホームページの更新等

「生物多様性」に関する企画展やムサシトミヨの飼育展示、季節の生きものに関する展示等を計 41 回行いました。また、「あらかわ学会」(鴻巣市)での論文発表、「田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト全国集会」(川越市)でのポスター発表、「西部地域コミュニティまつり」(北本市)への出展を行いました。

開館日(321 日)にはホームページの更新を毎日行い、ニュースレターを年 4 回発行しました。利用者は 95,367 人となり、3 月 2 日には開館以来の累計利用者 200 万人を達成しました。

④ センター施設の保守・管理

施設の日常清掃、機械警備を毎日行い、エレベーター、自動ドア、浄化槽、展示設備等の定期的な保守・点検を行いました。

⑤ 生物多様性の向上と来園者の安全を考えた園内の維持管理

開館日に毎日巡視を行ったほか、専門業者による草刈りや湿地耕耘などの管理作業を行いました。

また、183 人(平成 29 年 3 月末現在)の登録ボランティアによる管理作業を 21 回行うとともに、企業や地域団体等による管理作業を 9 回受け入れました。

⑥ 講義室・研修工作室・会議室の貸出

自然に関連した活動団体や行政機関等の利用申請が 68 件ありました。

3-2 荒川大麻生公園

荒川大麻生公園は、熊谷市内の荒川河川敷に整備された 81ha におよぶ都市公園です。河原特有の希少植物が群生する砂礫・草地や多様な鳥類が生息する野鳥の森、レクリエーション利用のための多目的グラウンド等があります。

① 生物多様性の向上と来園者の安全を考えた園内管理

園内の希少動植物の保全や外来植物の駆除、園内施設の点検・修理等の管理作業を 104 回実施しました。

② 自然観察会や環境管理活動等の開催・実施

毎月開催している「わくわく野あそび隊」のイベントを始め、エコパークボランティアの方々や埼玉県立熊谷商業高等学校の生徒の方々と共に、イベントや環境管理活動を計 48 回開催し、延べ 776 人が参加しました。

- ③ 自然環境と調和した多目的グラウンドの環境管理と利用管理
自然環境と調和したグラウンドの樹木や植え込みの管理を行うと共に、快適な利用を図るために芝生の管理・養生を行いました。スポーツ大会やレクリエーションの場として、熊谷市や地元公民館、地元高等学校等からの利用申請は 26 件、届け出があった利用者数の累計は 44,313 人となり、自然豊かなグラウンド利用が進みました。

4. ナショナルトラスト事業

『子どもたちがいきいきと輝く自然と伝統が共存した持続可能な地域づくり』に向けたナショナルトラスト事業を行いました。

4-1 地域の自然環境を維持・向上するための土地の所有及びその実現のための募金活動

- ① 「水のトラストしよっ基金」にて、新規トラスト地の取得に係る募金活動に力を入れて取り組みました。
- ② 平成 28 年 5 月に小鹿野町大胡桃地区の山林 11,269 m²を寄附により取得・登記し、平成 29 年 3 月に秩父市大滝字落合の山林 27,463 m²を購入により取得・登記しました。平成 28 年 10 月に狭山市上赤坂の雑木林 2,276 m²を購入により取得・登記しました。
- ③ 山林や庭園等の寄附の受け入れ及び売買に関する相談対応しました。
- ④ 生活クラブ生協と連携した独自の募金活動
生活クラブ生協埼玉の「市民事業寄付制度」に参加し、組合員を対象に、「水のトラストしよっ基金」への募金協力の呼びかけを行いました。
- ⑤ 協会が所有するトラスト地の維持・管理
秩父市、上尾市、川口市、狭山市、所沢市、伊奈町、鳩山町、小鹿野町、千葉県松戸市内に所有する各トラスト地の巡視・維持・管理活動を、各支部等との連携のもと行いました。

4-2 ナショナルトラスト活動を行う地域団体の活動支援

「おおたかの森トラスト」の活動支援及び「エンハンスネイチャー荒川・江川」のトラスト活動の支援を行いました。